

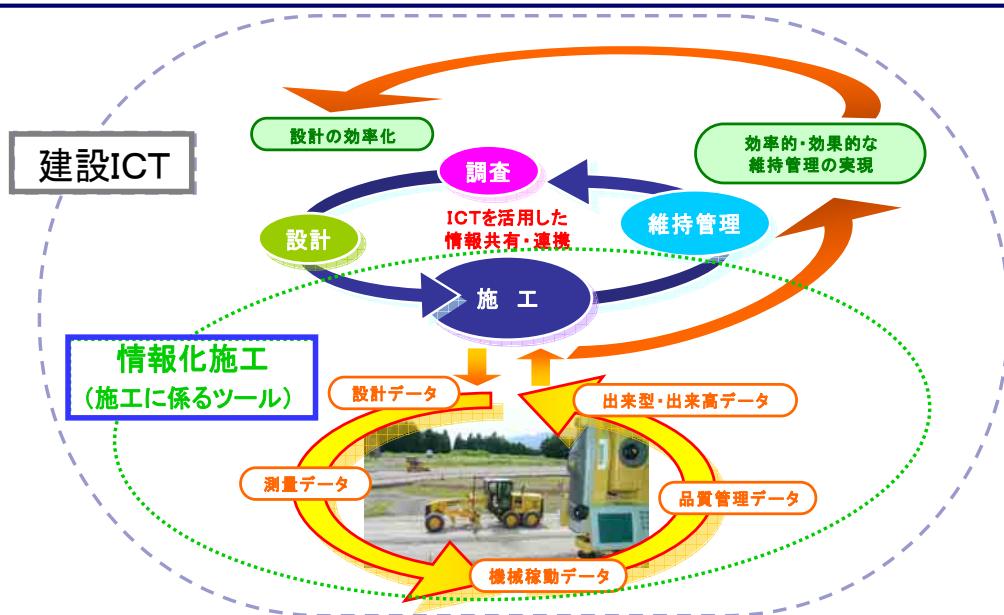
5. 建設ICT導入研究会のこれまでの取り組み及び今後の方針について

2

H20. 11 建設ICT導入研究会の設立

計画から調査・設計・施工・維持管理に至る一連の建設プロセスにおいて、ICTを活用し、効率化・高度化による生産性向上・行政サービス向上・現場技術力強化を図ることを目的として、受発注者及び開発者等の産学官の関係者が一体となり、技術普及・現場支援・技術研究を行う。

研究会の活動期間は、2年間を目標とする《平成20年11月～平成22年12月まで》

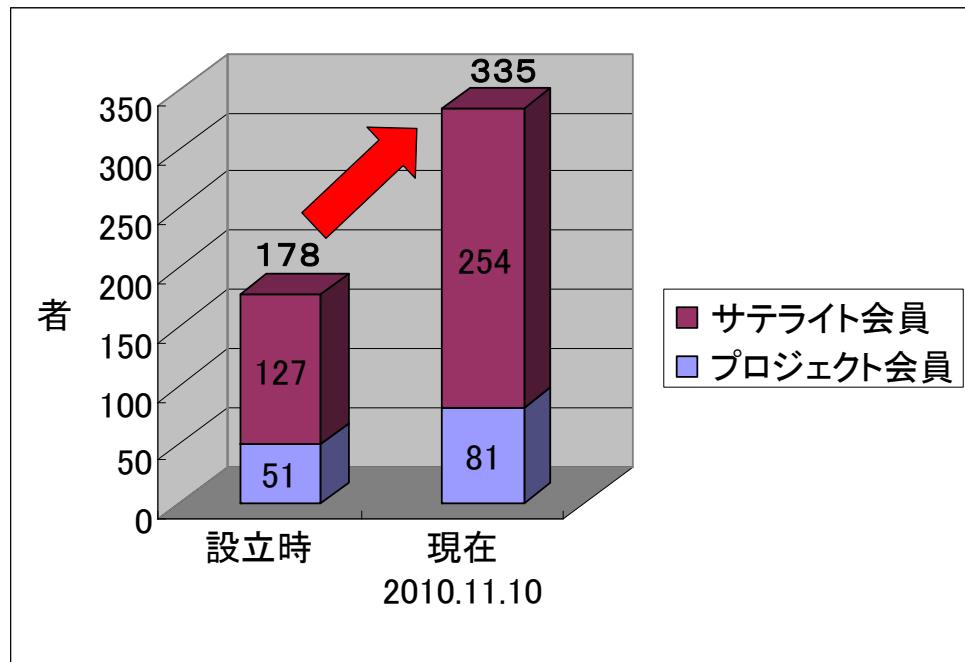


ICT = Information(情報) and Communication(通信) Technology(技術)

3

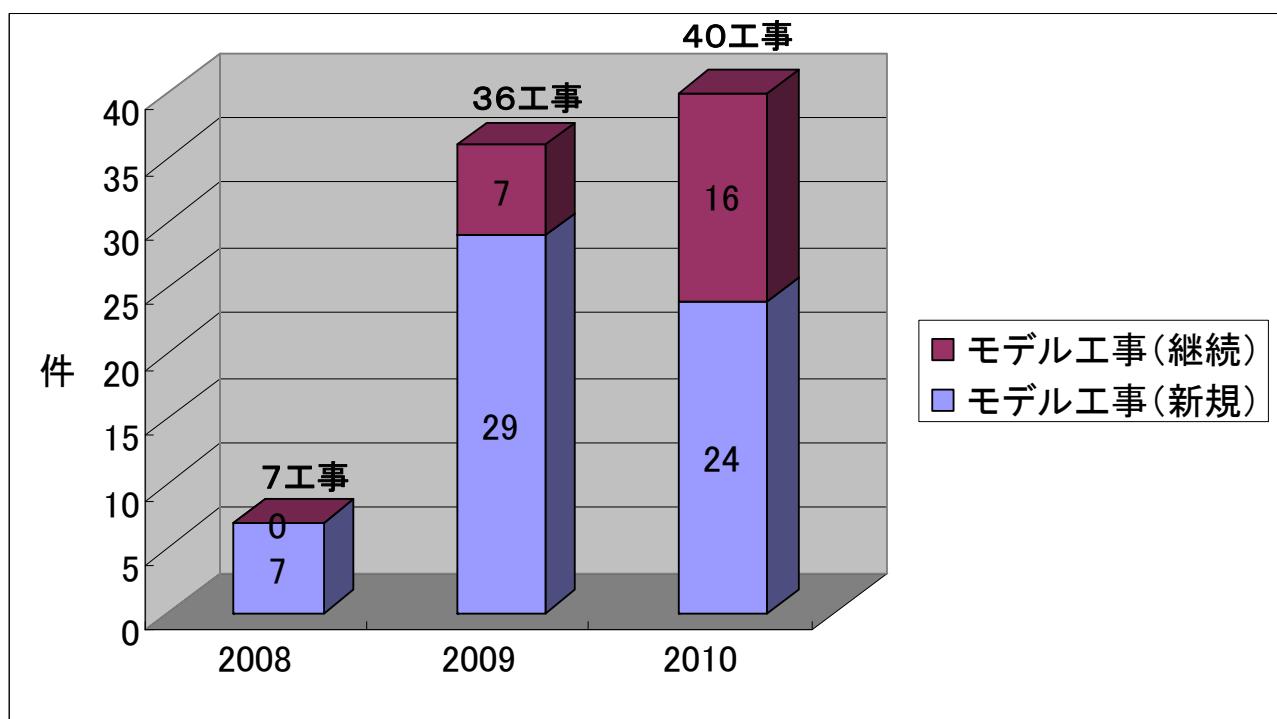
導入研究会会員の推移

○会員数は2年間で約2倍(157者増)



4

情報化施工モデル工事数



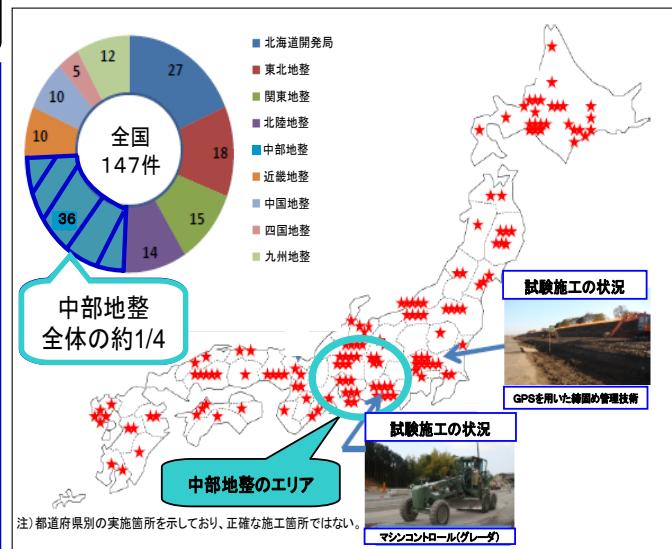
5

試験施工の実施状況

中部 H21試験施工マップ (建設ICT導入研究会事務局作成)



全国 H21試験施工マップ 資料・情報化施工推進会議



平成21年度 中部地整 建設ICT導入技術と導入数

マシンコントロール(MC)		マシンガイダンス(MG)		ローラ締固め管理	TS/GNSSを用いた出来形管理	ICタグ	3Dの導入	現場映像配信の活用	3Dスキャナー	情報共有システム	合計
ブルトーザ	グレーダ	Asフィニッシャ	ブルトーザ	バックホウ							
5	4	4	1	9	7	25	5	10	5	8	95

※一工事において、複数の技術等を含むため、合計は36と成らない

6

試験施工現場見学会 13回 のべ約1,300人参加

建設ICT試験施工現場において現場見学会を開催(H20~)

建設ICT技術普及活動の一環として、各機械・機器を実際に操作等することで「建設ICT技術とはどんなものか?」を理解することを目的に開催。

- 開催場所:各試験施工現場
- 実施回数:13回(H20~H22)
- 参加者数 合計約1,300名
- 紹介した技術
 - MGブルドーザ、MGバックホウ
 - MCブルドーザ、MCAsフィニッシャ
 - MCモータグレーダ
 - TS・GPS締固め
 - TS出来形管理(土工)
 - 基本設計データ作成方法説明



↑ MGバックホウ操作体験



↑ TS出来形管理の操作体験

【参加者の声】

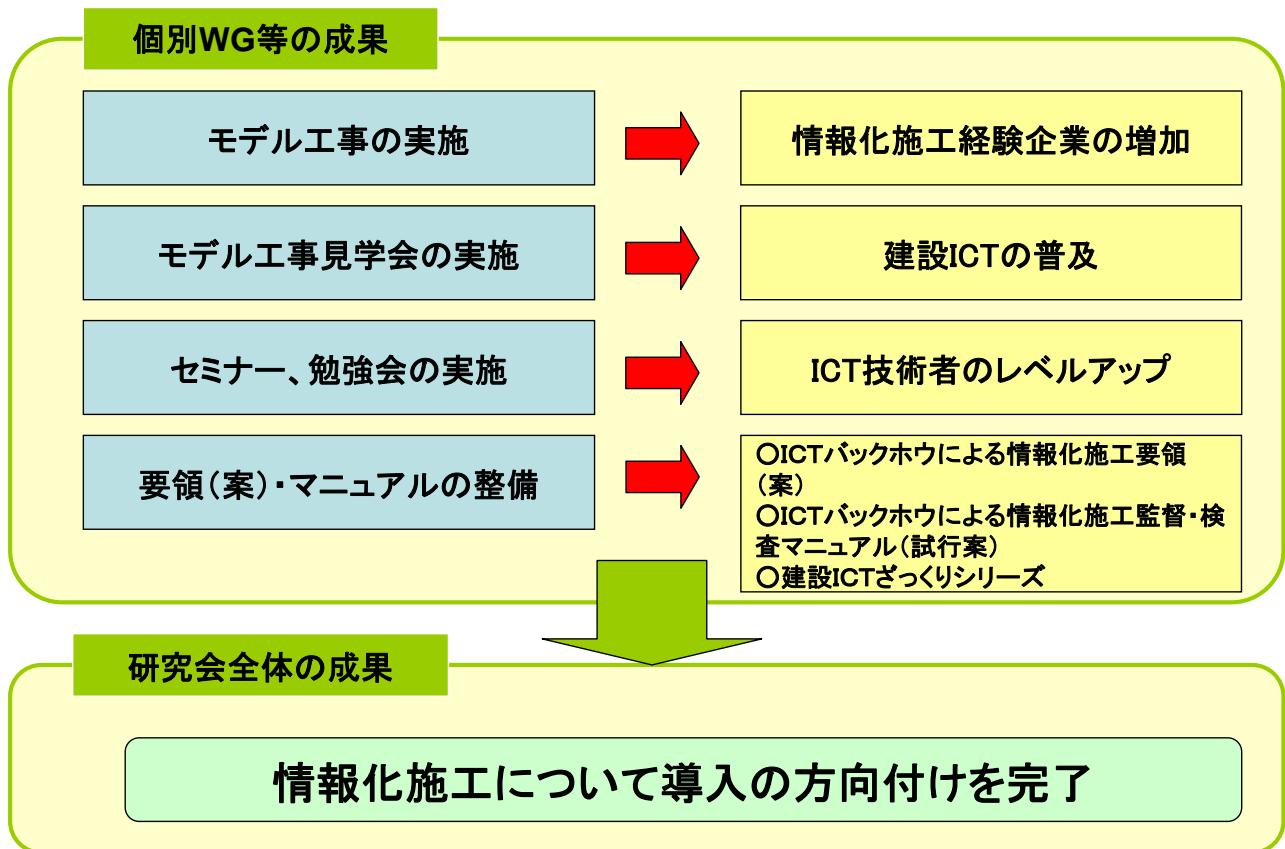
- ◆情報誌等で見るのと異なり、実物を見た事で、これまでイメージだけだった物を形としてとらえる事ができ、とても良かった。
- ◆TSを実際に操作し、使い易さや便利さを実感した。



↑ 基本設計データ作成方法説明

7

導入研究会の成果



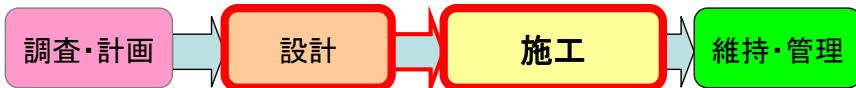
8

【提案】今後の研究会が目指すもの

~2010. 12

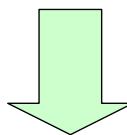
建設ICT導入研究会

施工段階におけるICTを導入・普及が中心



2011. 1～

建設ICT導入普及研究会



調査・計画、設計、維持管理段階へのICT導入検討

2年間の経験を基にした情報化施工の普及



9